

富士山静岡空港

訪日客実態調査報告書

(2024年12月版)

公益財団法人するが企画観光局



調査概要

【調査目的】

静岡県中部地域を訪れた外国人観光客の消費動向等について、富士山静岡空港への香港便就航に合わせ最新の情報を調査するとともに、来訪目的等の意向を捉え事業戦略立案等に活用する。

(1)調査主体

- 公益財団法人 するが企画観光局
- 静岡市
- 富士山静岡空港 株式会社

(2)調査対象

香港便及びソウル便を使用して出国する一般搭乗者

	香港便	ソウル便
空 港	香港国際空港	仁川国際空港
航空会社	香港 익스프레스航空 キャセイパシフィック航空	チェジュ航空
機 材	A320neo	B737-800
運 航 日	①火・木 ②土	毎日
機 材	①HKE865/CPA5865 ②HKE845/CPA5845	JJA1604
出発時刻	14:45	18:50
到着時刻	①18:40 ②19:00	21:15

(3)調査実施日

2024年12月21日(土)、24日(火)、26日(木)

※香港便は12月17日より新規就航

(4)調査場所

富士山静岡空港 2階 国際線搭乗待合室



※配置図は富士山静岡空港HPより引用

(5)調査方法

- 搭乗待合室にアンケート回答ブースを設置
- 回答ブースにて、回答者は自身のスマートフォン又は貸与したタブレットから調査フォームへアクセスし、Webアンケートに回答
- 回答のインセンティブとして、伝統工芸品、コースター、クリアファイル、及びボールペンを抽選により贈呈



調査項目

No.	大項目	質問内容	回答形式
1-1	導入	搭乗する航空便	択一
2-1	今回の訪日旅行について	訪日旅行の主な目的	自由記述
2-2		日本への訪問回数	択一
2-3		今回の旅行の宿泊日数	択一
2-4		入国した空港	択一
2-5		入国時、空港からの移動手段	択一
3-1	静岡県中部地域における動向	当地域を目的地にした理由	自由記述
3-2		当地域への訪問回数	択一
3-3		当地域への宿泊日数	択一
3-4		訪れた観光地	複数選択
3-5		使用した交通機関	複数選択
3-6		訪問前に期待していたこと	複数選択
3-7		前問のうち最も満足したこと	択一
3-8		当地域を訪問する推奨度	択一
3-9		前問の点数を付けた理由	自由記述
3-10		今回の旅行で訪れたその他の目的地	複数選択
3-11		旅行の形態	択一
4-1～4-7	静岡県中部地域における1人当たり消費額	ツアー代金、域内交通費、宿泊費、飲食代、入館・体験料、土産代、その他	択一
5-1	基本属性	性別	択一
5-2		年代	択一
5-3		居住国・地域	択一
5-4		同行者との主な関係	択一

<調査結果>

香港便／ソウル便 搭乗者特性の比較

※グラフ生成ソフトの仕様でデータラベルが重なり視認性が悪い箇所がございますが、ご了承ください。



静岡県中部が旅行の主な目的地
(静岡空港イン・アウト、中部地域に全行程のうち7割滞在)



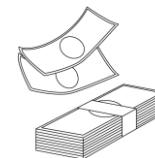
香港便新規就航を契機とした誘客効果あり



富士山と日本食への高い期待と満足



消費額は約15,000円/人泊と低調
(宿泊・買い物単価の向上が課題)



搭乗者のペルソナイメージ

香港便

居住国・地域

基本属性

訪日経験

来静経験

宿泊傾向

入出国

移動

来訪理由

域内の観光先

域外の観光先

旅行への期待

満足したこと

旅行形態

消費傾向

香港への帰国者

30～40代、子供を連れた家族旅行

コアリピーター

初めて

中期型、7割程度を当地域で過ごす

静岡空港イン・アウト

レンタカー

直行便の就航、航空券の安さ

歴史資源

伊豆半島、福岡、北海道

日本食、自然、温泉、買い物ほか幅広い興味

自然・景勝地

個人旅行

土産



ソウル便

ソウル(韓国)への帰国者

20代、パートナーとの旅行

数回の来日経験あり

初めて

短期型、7割程度を当地域で過ごす

静岡空港イン・アウト

路線バス

友人やWebのおすすめ

景勝地

大都市圏

日本食、自然、温泉、日本の酒

日本食

個人旅行

宿泊



調査結果 > 回答数、居住国・地域

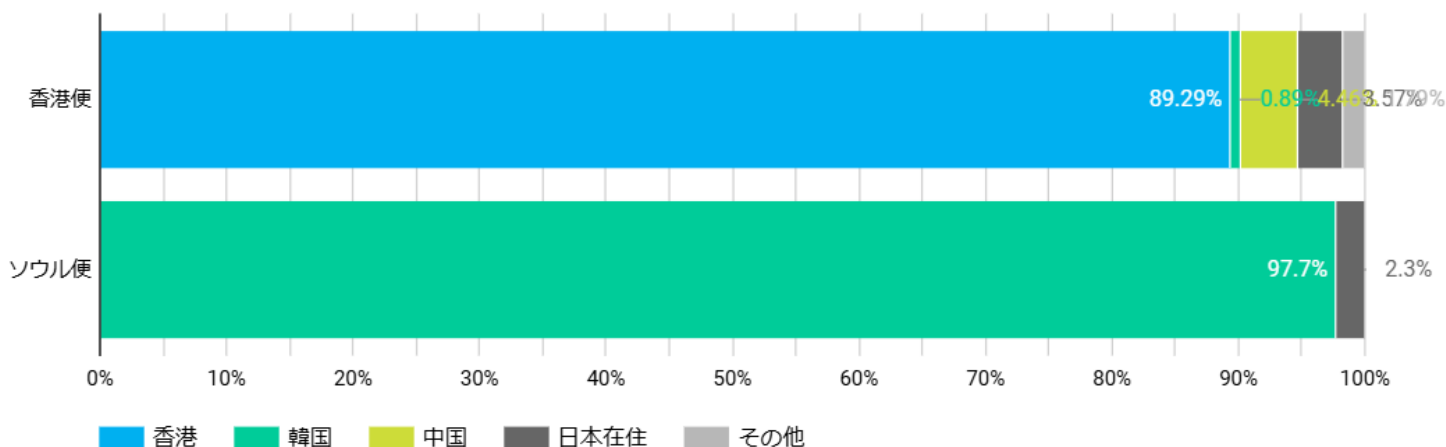
- 香港便は香港、ソウル便は韓国への帰国者が多数を占める。

回答数

調査日	香港便	ソウル便
12/21(土)	30(29)	28
12/24(火)	40(38)	41
12/26(木)	42(41)	18(16)
計	112(108)	87(85)

※()内は日本在住者を除外した値

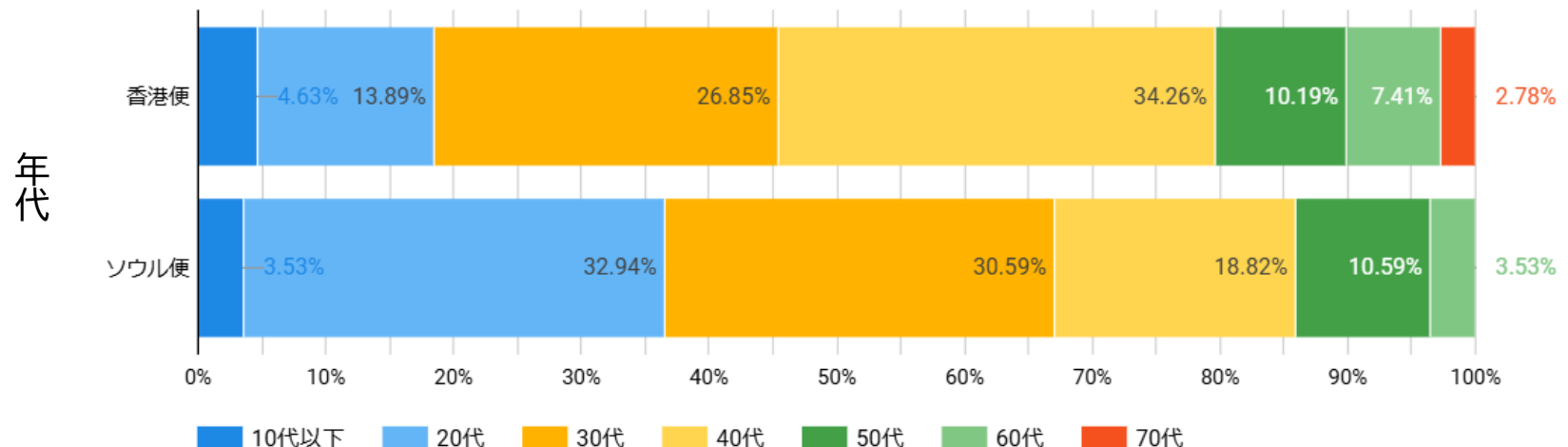
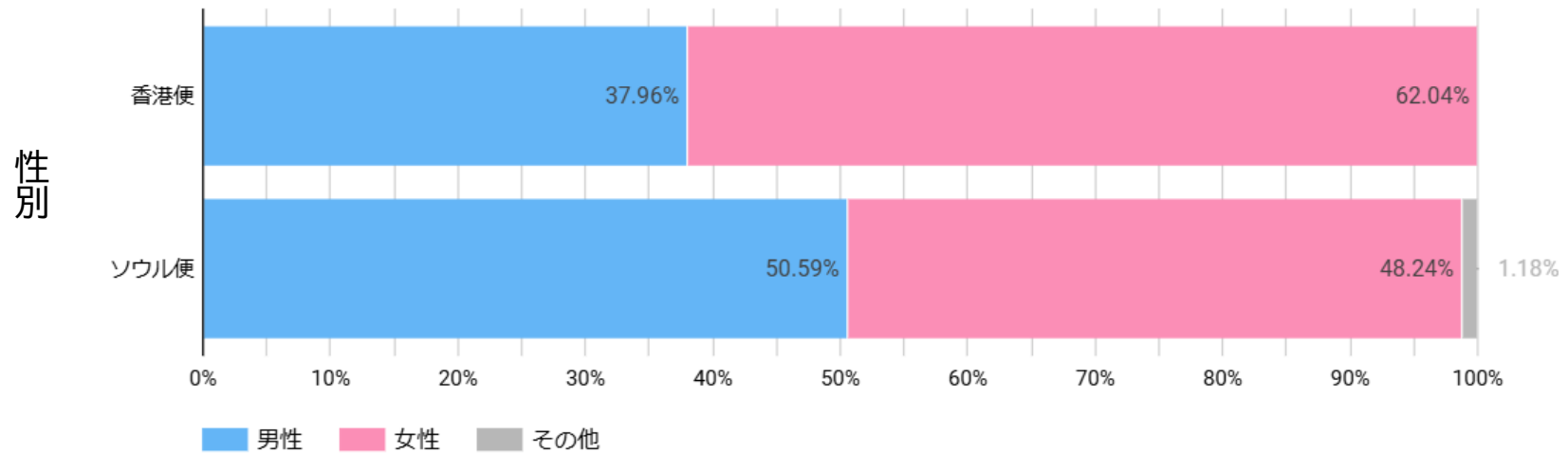
居住国・地域



次ページ以降は日本在住者を除外して集計
(香港便:n=108、ソウル便:n=85)

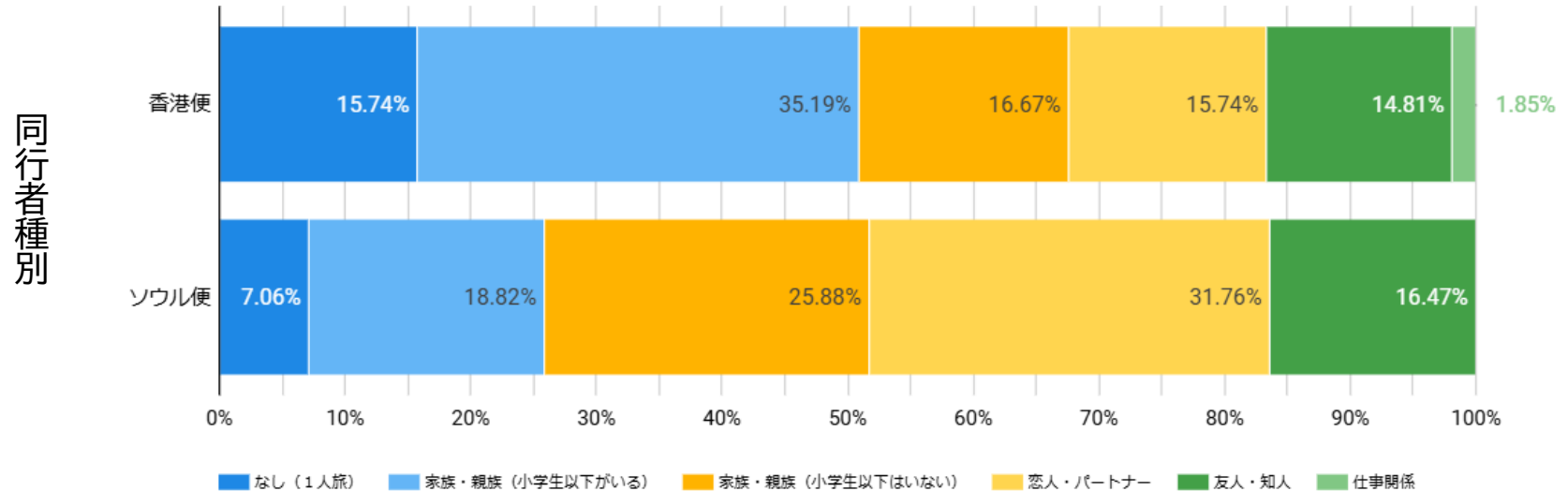
調査結果 > 基本属性 > 性別・年代

- 香港便は女性が多く、ソウル便の男女比はほぼ同程度。
- 香港便は30代及び40代の合計が約61%を占める。ソウル便は20代が約33%と最も多い。



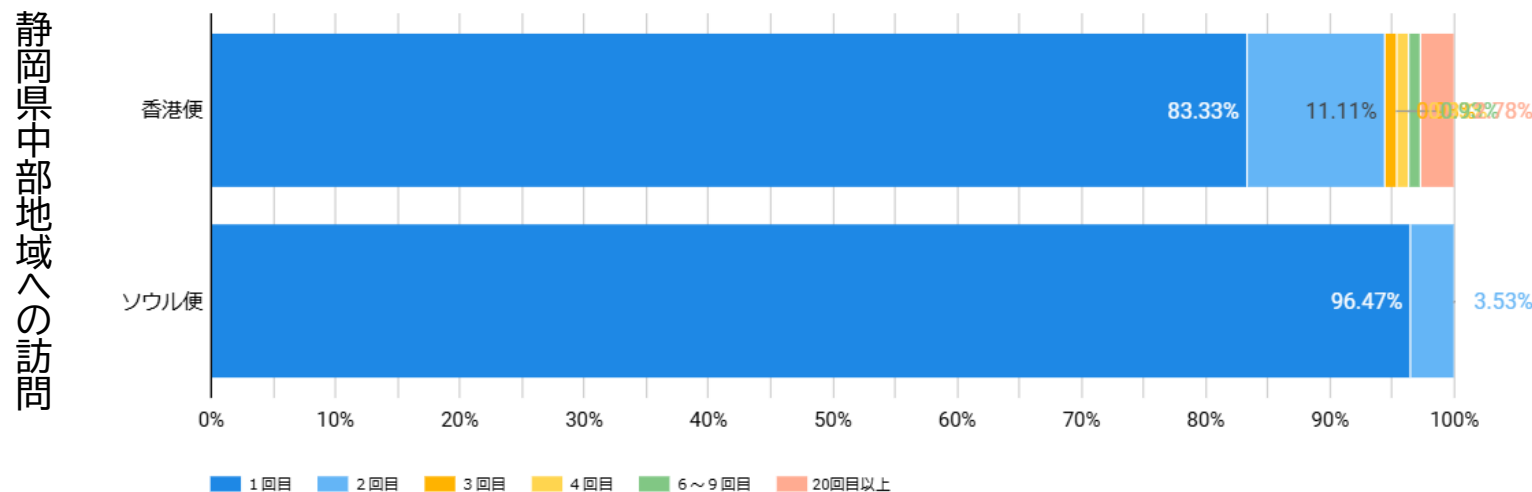
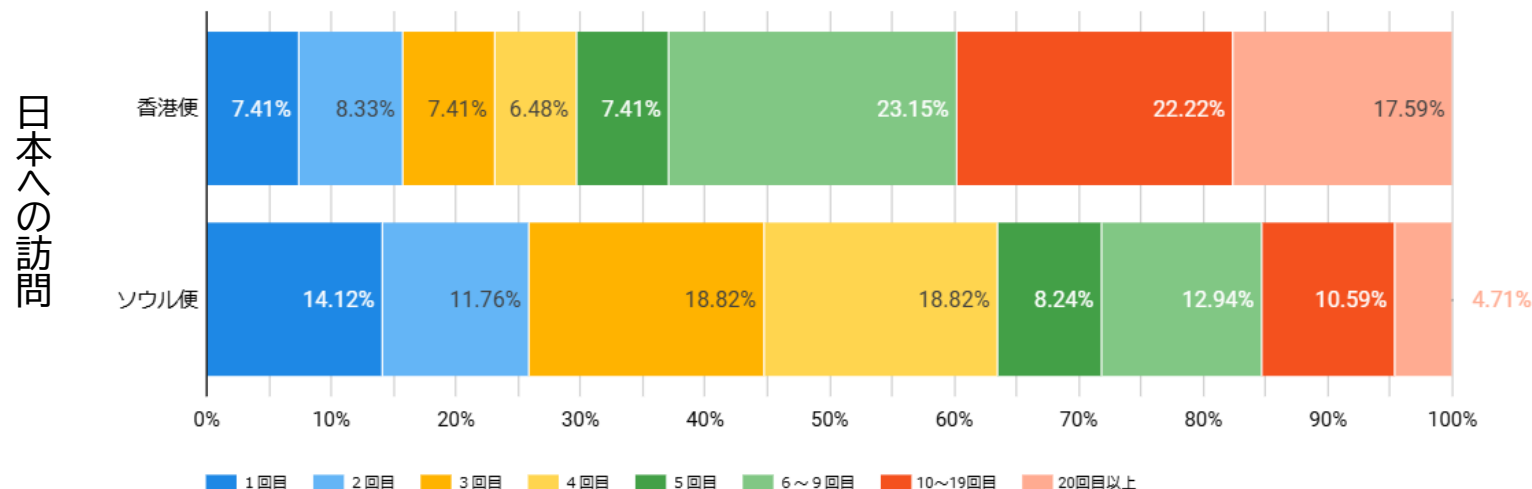
調査結果 > 基本属性 > 同行者種別

- 香港便は小学生以下を含む家族・親族が約35%で最多、その他の種別が15%前後という構成である。ソウル便は恋人・パートナーが約32%で最も多く、次いで小学生以下を含まない家族・親族が約26%を占める。
- 両便ともに仕事関係の同行はほぼ見られない。



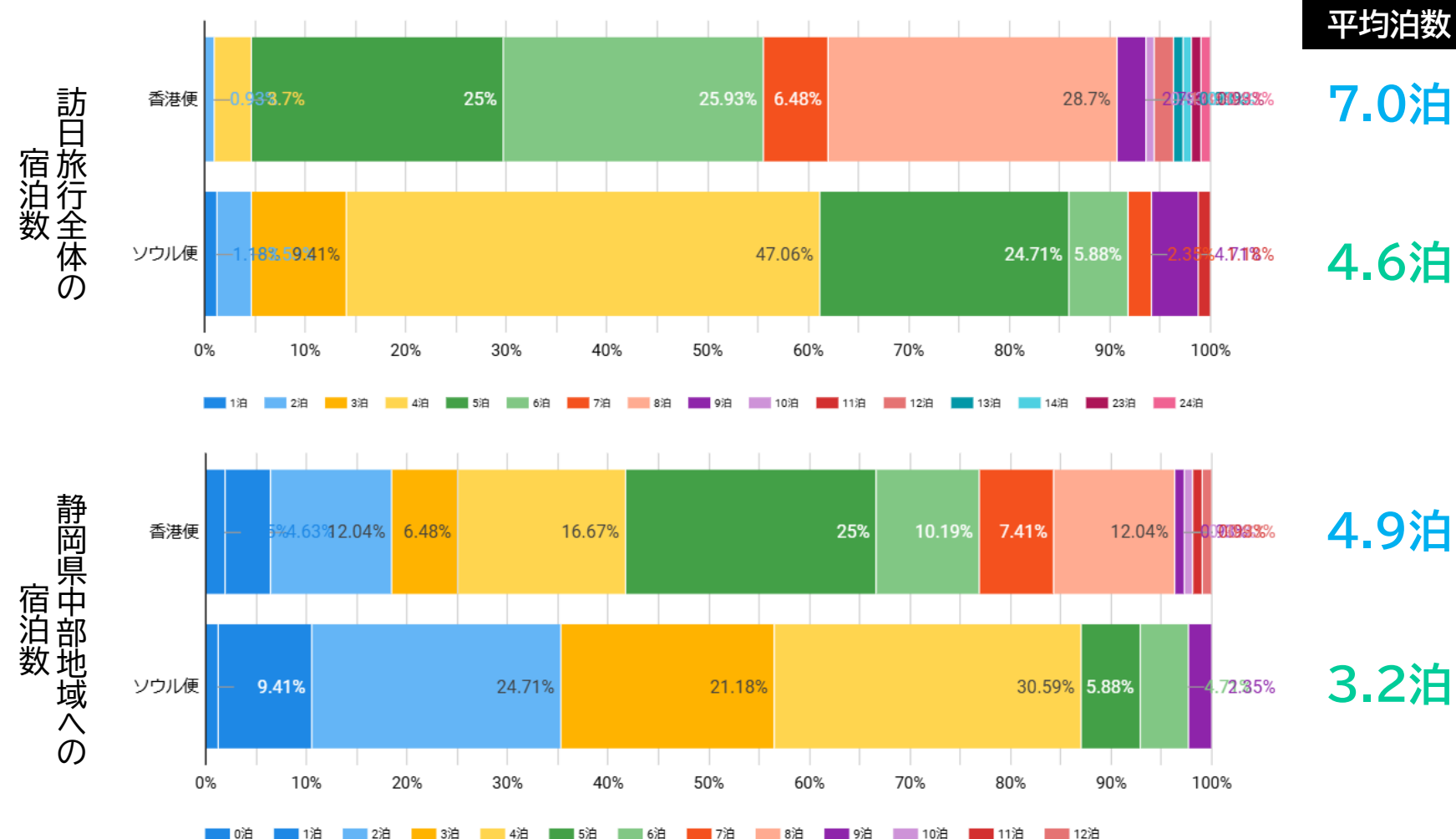
調査結果 > 来訪に係る動向 > 来日・来静回数

- 香港便は過去に訪日経験がある方が約92%とほぼリピーターであり、10回以上の訪日経験を持つコアリピーターが約40%存在する。ソウル便は3回目又は4回目がボリューム層であり、初めて訪日及び10回以上の訪日経験の層も各15%前後存在する。
- 静岡県中部地域への訪問は大半が初めてであるが、香港便は2回目が約11%、また20回目以上のコアリピーターも約3%（3件）ではあるが存在する。



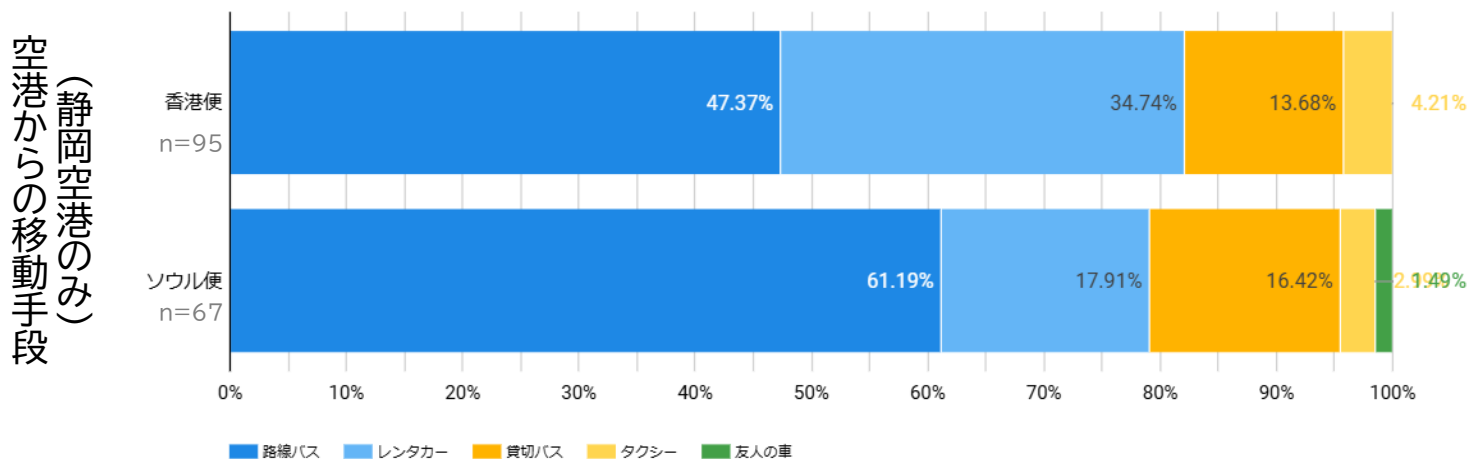
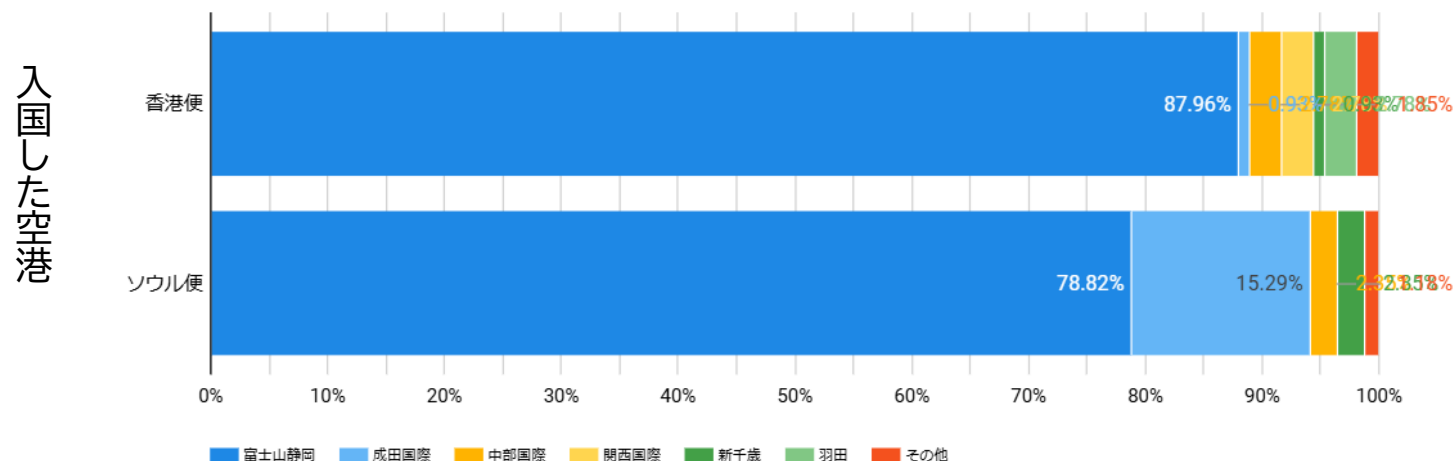
調査結果 > 来訪に係る動向 > 宿泊数

- 訪日全体行程について、香港便は約95%が5泊以上であり最長は24泊、ソウル便は約61%が4泊以下であり最長は11泊。
- 県中部の行程について、香港便は5泊が25%で最も多く最長は12泊、ソウル便は4泊が約31%で最も多く最長は9泊。
- 平均泊数(県中部/訪日全体)は、**香港便:4.9泊/7.0泊、ソウル便:3.2泊/4.6泊**であり、全体の**7割程度の行程を県中部での滞在**に充てている。全体として、ソウル便がショートトリップの傾向にある。



調査結果 > 来訪に係る動向 > 入国

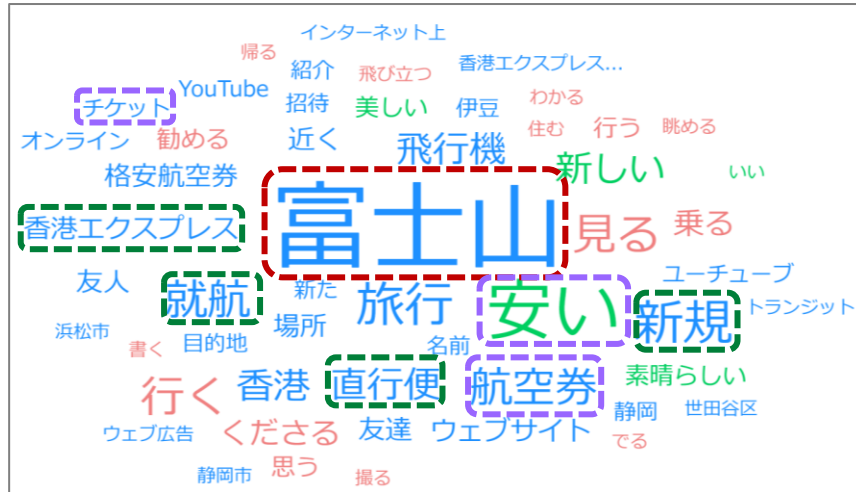
- 両便とも静岡インが80%前後を占めている。ソウル便は成田インが約15%、主要空港のほかには、静岡空港からの就航先である新千歳イン/静岡アウトのケースも存在した。
- 静岡空港からの移動手段は、路線バス利用が香港便約47%、ソウル便約61%と最も多く、香港便はレンタカーが約35%と比較的多い傾向である。



調査結果 > 県中部地域の滞在動向 > 来訪理由

- 両便とも富士山を目当てとした来訪が突出している。
- 富士山に次いで、香港便は航空券の価格や直行便新規就航、ソウル便は旅行サイト・友人のおすすめなどが特徴的な理由として挙げられる。

香港便



- 富士山
- 航空券が安い
- 新規就航

ソウル便

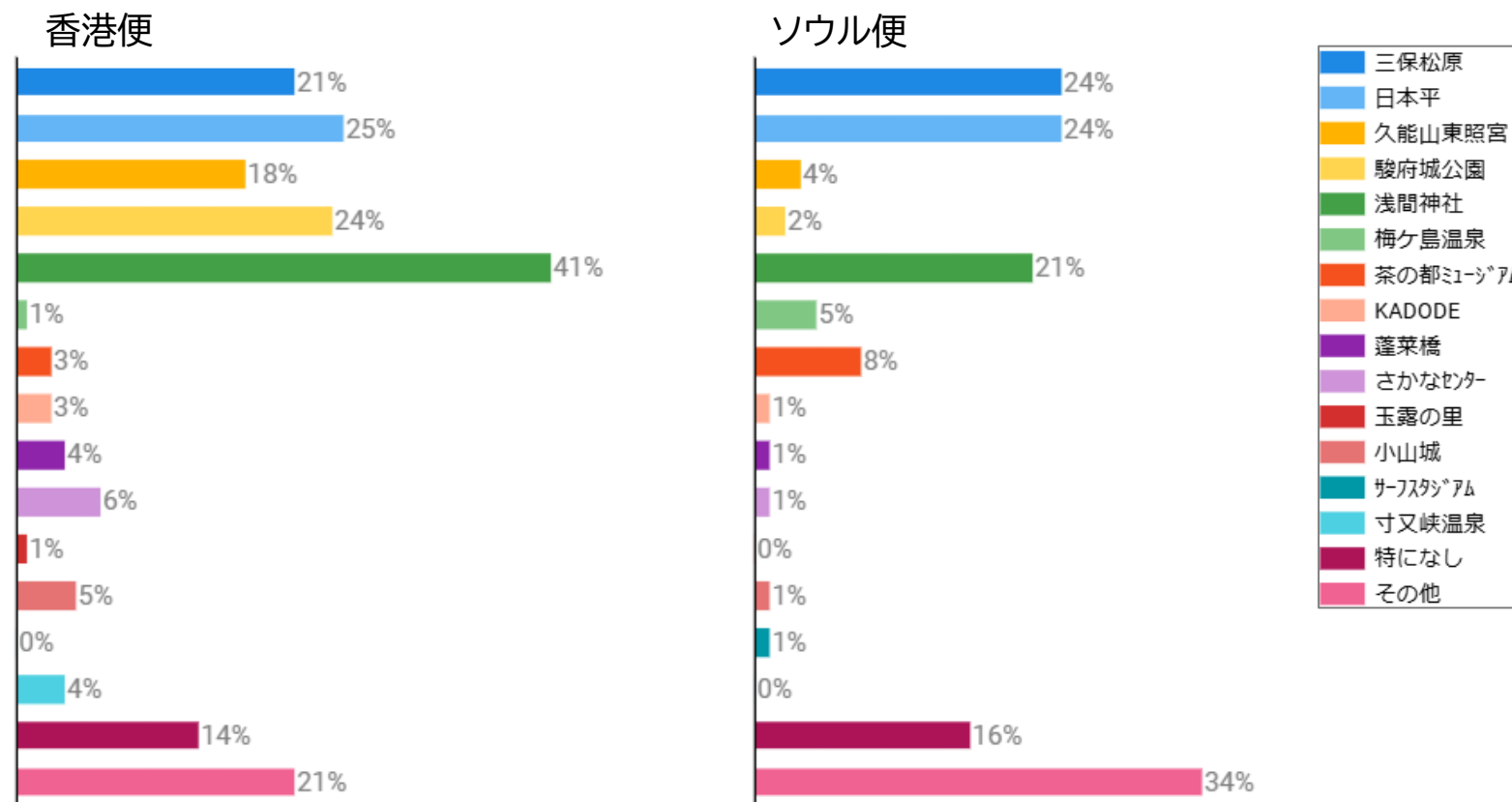


- 富士山
- おすすめされた

出典:自由記述回答を機械翻訳したデータをユーザーローカルAIテキストマイニングにより分析
(<https://textmining.userlocal.jp/>)

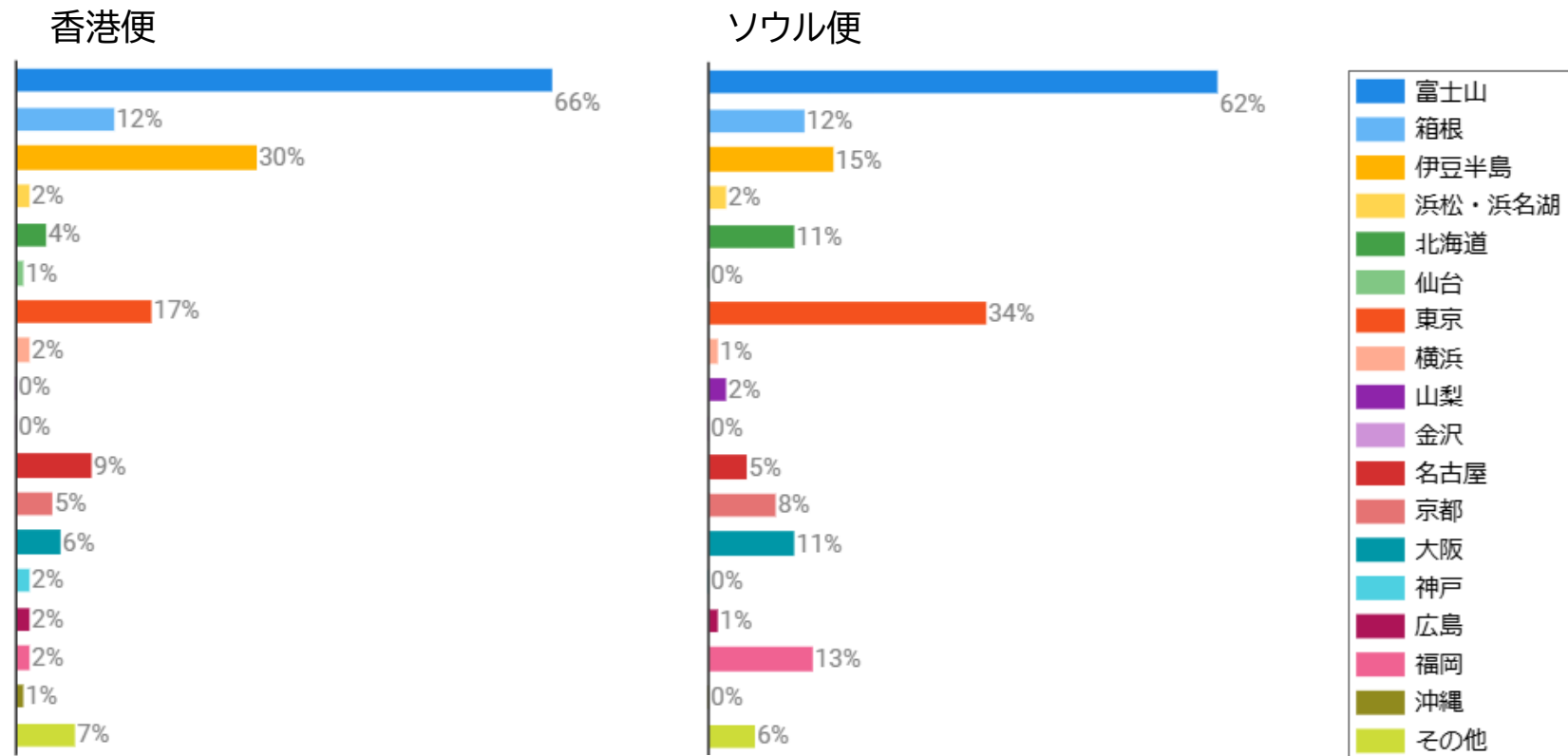
調査結果 > 県中部地域の滞在動向 > 当地域の訪問先

- 三保松原、日本平といった景勝地と、特に香港便は浅間神社を始めとする歴史資源が上位となった。下位項目においても便によりやや差異が見られ、今後の継続調査により更に特性を明らかにしていくことが望ましいと考えられる。
- 香港便は訪日リピーターが多いことから、「日本の他地域は既に良く知っているため、今回の旅行は静岡県を中心に周遊している」可能性が示唆される。
- その他の回答が一定数存在するが、これは主に、選択肢に無い静岡県東部のスポットを回答したものである。



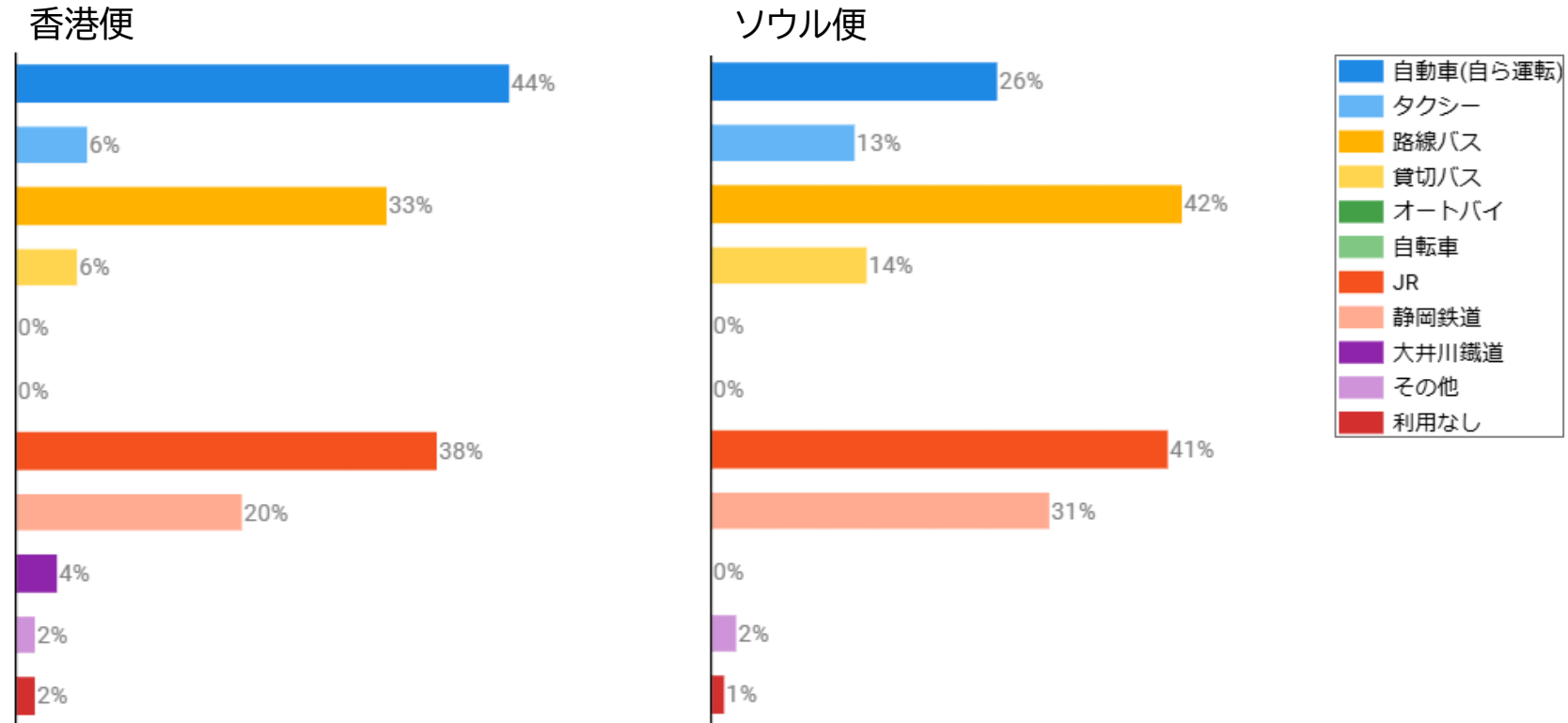
調査結果 > 県中部地域の滞在動向 > 域外の訪問先

- 両便とも富士山が最も多い。
- 次いで、香港便は伊豆半島が約30%、東京が約17%となっている。
- ソウル便は東京約34%のほか大都市圏が香港便より多い傾向にあり、また北海道や福岡など静岡空港からの国内線就航先である遠隔地への訪問も見られる。



調査結果 > 県中部地域の滞在動向 > 利用交通機関

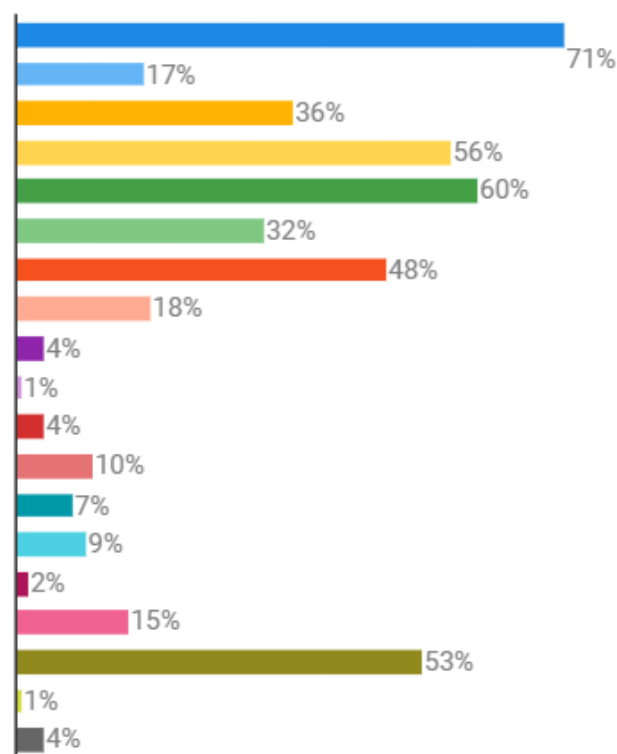
- 香港便は自動車約44%で最も多く、次いでJRが約38%を占めている。
- ソウル便は路線バスの約42%を始めとする公共交通機関が比較的に利用されている。



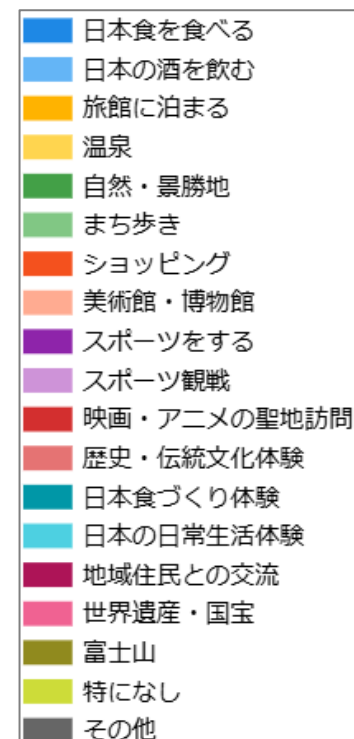
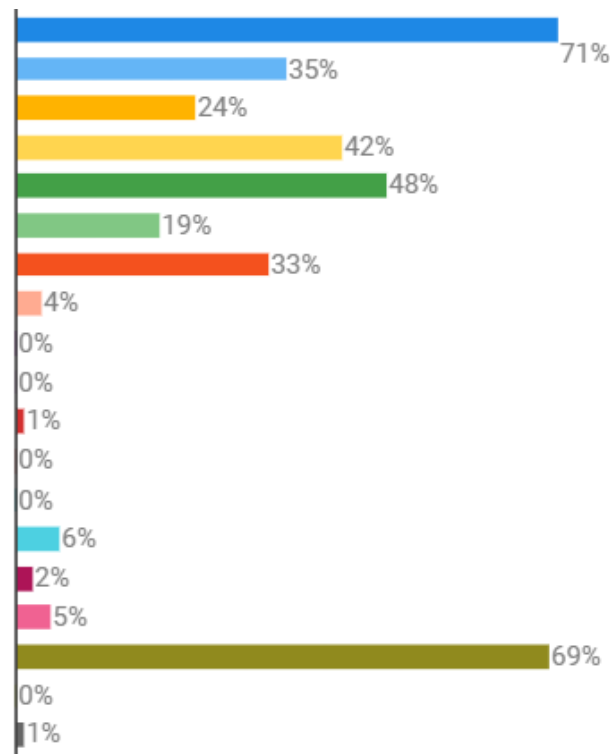
調査結果 > 県中部地域の滞在動向 > 訪問前に期待していたこと

- 富士山への期待感は、やはり高いが、両便とも日本食を食べることが約71%と、富士山を上回り最多である。
- 次いで自然・景勝地、温泉となり、香港便はショッピング、ソウル便は日本の酒を飲むことが高い傾向を示している。
- 香港便は、ソウル便に比べ全項目に回答が分散しており、様々な要素に複合的な期待を持って来訪していることが伺える。

香港便

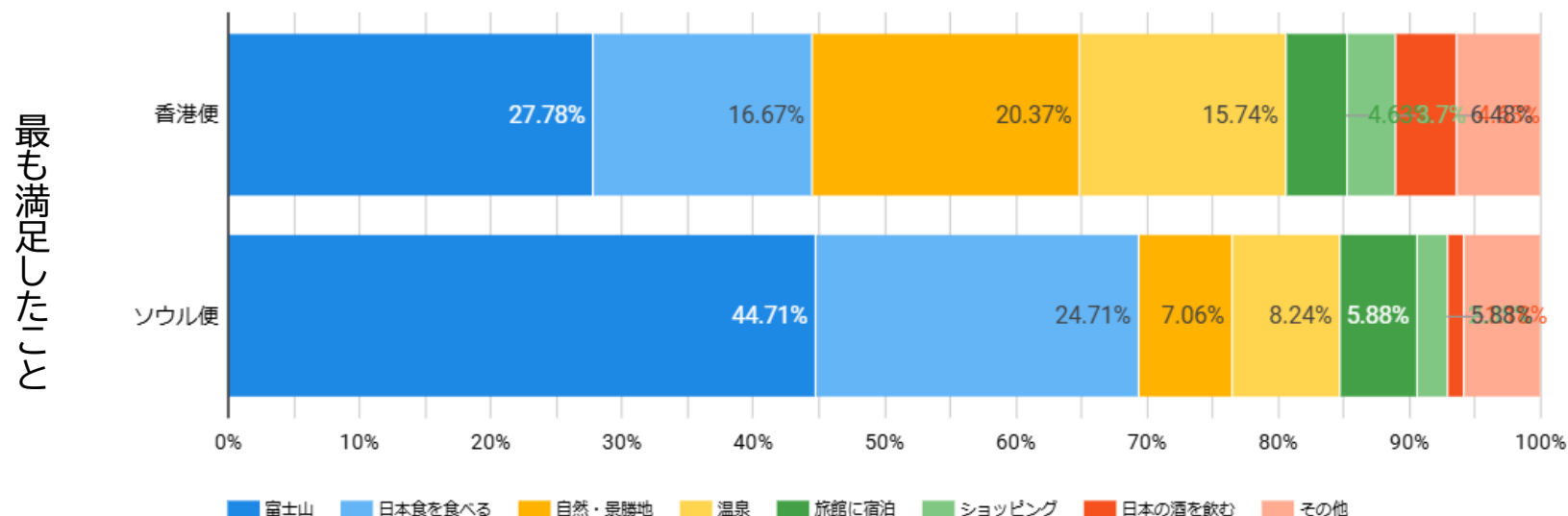


ソウル便



調査結果 > 県中部地域の滞在動向 > 最も満足したこと

- 前問の「期待したこと」のうち、実際の来訪を経て最も満足したことについては、両便とも**富士山**が最多となっている。
- 次いで、香港便は**自然・景勝地**が約20%、ソウル便は**日本食を食べることが**約25%を占めている。
- 両便とも訪問前の期待は各項目に回答が分散していたが、“最も”満足したことに絞り込むと、特定の項目に回答が集中する結果となった。



調査結果 > 県中部地域の滞在動向 > 期待と満足の比率

- 富士山を除くと、香港便は自然、温泉、日本食が、ソウル便は日本食、旅館が、特に期待に応えるコンテンツであることが伺える。
- 一方で日本の酒、まち歩き、ショッピングなどは、一定数の方が期待を抱き来訪するものの、訴求力が強くない、あるいは満足したことの筆頭にはならない性質のコンテンツであると推測される。

「最も満足したことの回答数 ÷ 訪問前に期待していたことの回答数」を最も満足した割合とした

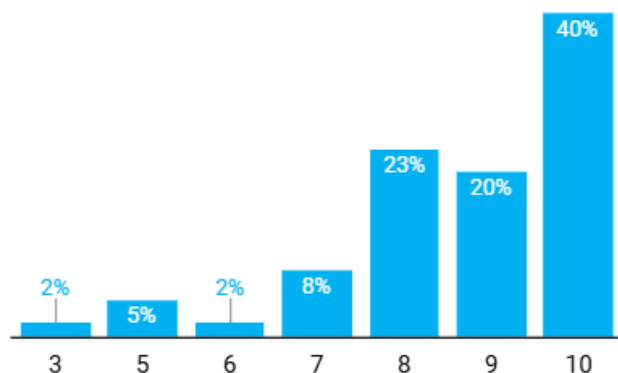
香港便		
項目	満足/期待	最も満足した割合
日本食を食べる	18/77	23% 
日本の酒を飲む	0/18	0%
旅館に泊まる	2/39	5% 
温泉	14/61	23% 
自然・景勝地	19/65	29% 
まち歩き	2/35	6% 
ショッピング	1/52	2% 
美術館・博物館	1/19	5% 
スポーツをする	0/4	0%
スポーツ観戦	0/1	0%
映画・アニメの聖地訪問	0/4	0%
歴史・伝統文化体験	0/11	0%
日本食づくり体験	0/8	0%
日本の日常生活体験	1/10	10%
地域住民との交流	0/2	0%
世界遺産・国宝	0/16	0%
富士山	26/57	46% 

ソウル便		
項目	満足/期待	最も満足した割合
日本食を食べる	19/60	32% 
日本の酒を飲む	1/30	3% 
旅館に泊まる	5/20	25% 
温泉	6/36	17% 
自然・景勝地	6/41	15% 
まち歩き	2/16	13% 
ショッピング	1/28	4% 
美術館・博物館	0/3	0%
スポーツをする	0/0	0%
スポーツ観戦	0/0	0%
映画・アニメの聖地訪問	0/1	0%
歴史・伝統文化体験	0/0	0%
日本食づくり体験	0/0	0%
日本の日常生活体験	0/5	0%
地域住民との交流	0/2	0%
世界遺産・国宝	0/4	0%
富士山	36/59	61% 

調査結果 > 県中部地域の滞在動向 > 推奨度

- 当地域を訪問する推奨度は、両便とも+50を超える高い値を示し、来訪への満足感が伺える。
(参考: するが企画観光局 2023年度国内観光客向け来訪者調査 +34)
- 推奨者の割合は香港便、ソウル便とも同程度であったが、ソウル便は批判者の少なさから、NPSで香港便を上回る。
- 当地域への訪問は初めての回答者が大多数であったこととあわせて考えると、当地域は初回訪問者を満足させるポテンシャルを有していることが示唆される。

香港便



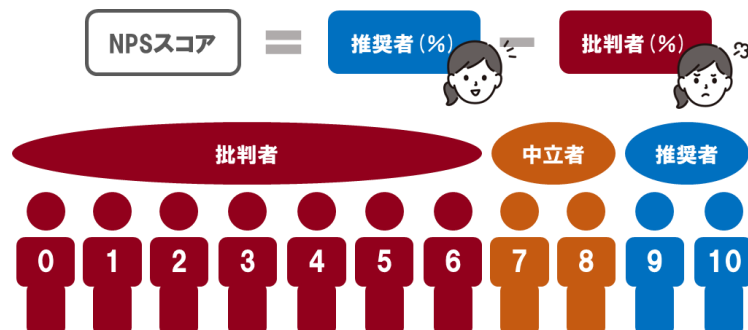
NPS

+52

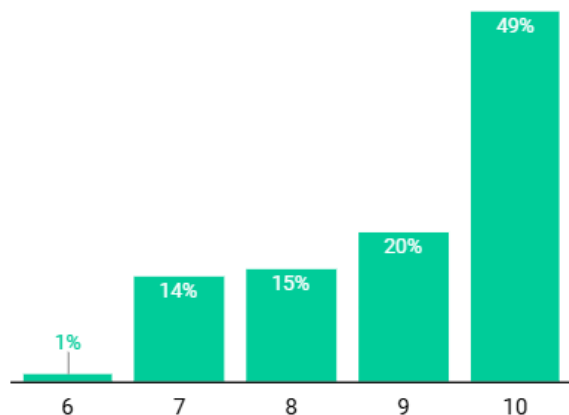
※NPS(Net Promoter Score) について

ロイヤルティ(企業やサービスに対して抱く強い支援の気持ち)を測る指標

「この地域への旅行を親しい友人や同僚に薦める可能性は10点満点中の何点か」という質問を行い、推奨者(10点・9点)の割合から批判者(0点～6点)の割合を引くことで算出



ソウル便

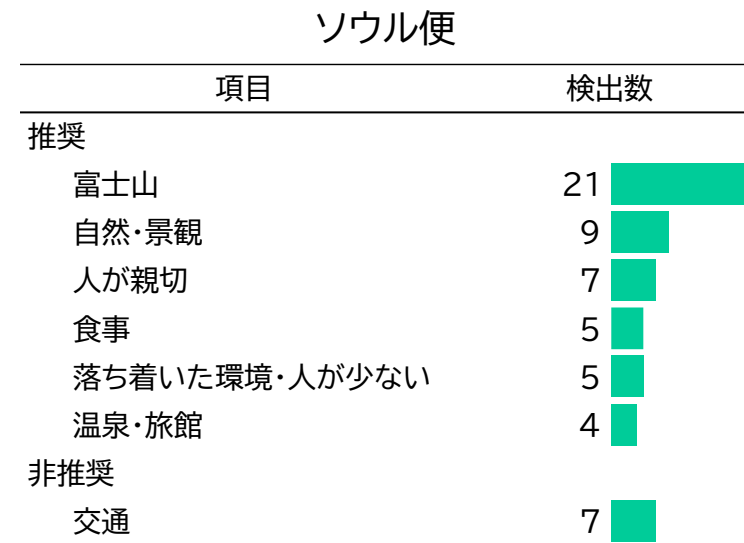
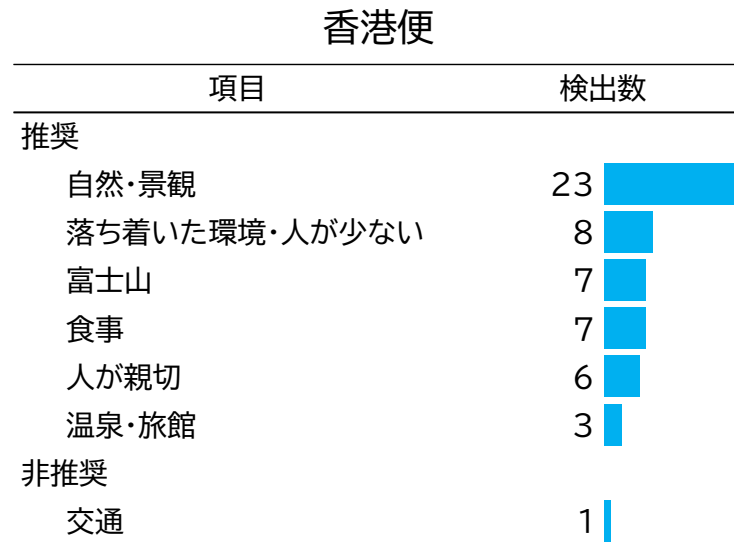


+68

調査結果 > 県中部地域の滞在動向 > 推奨/非推奨の理由

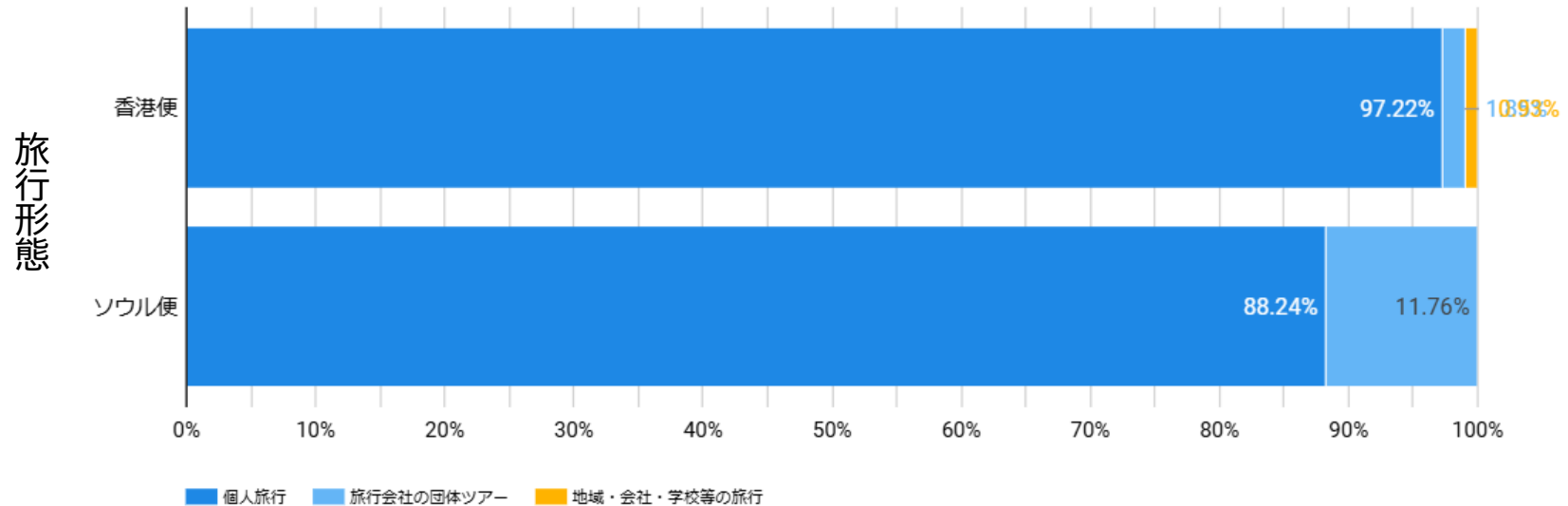
- 当地域への訪問を推奨する理由として、香港便は自然・景観、ソウル便は富士山が最も主要な要素とされている。
- そのほか、大都市圏に比べ人が少なく落ち着いた環境であることや、食・温泉・旅館といった日本文化も推奨理由となっている。
- ネガティブな意見は少数であったが、ソウル便で交通の不便さを挙げる声の一部見られた。

自由記述回答をアフターコーディングにより分類・集計



調査結果 > 消費額 > 旅行形態

- 香港便は約97%、ソウル便は約88%と、大多数が個人旅行による訪問である。
- 個人旅行とツアーでは消費の形態が異なると思われる(ツアー会社へパッケージとしての費用支払いなど)。本調査ではツアー利用の回答者が12件と少数だったため、消費額分析においては個人旅行のみを対象とする。



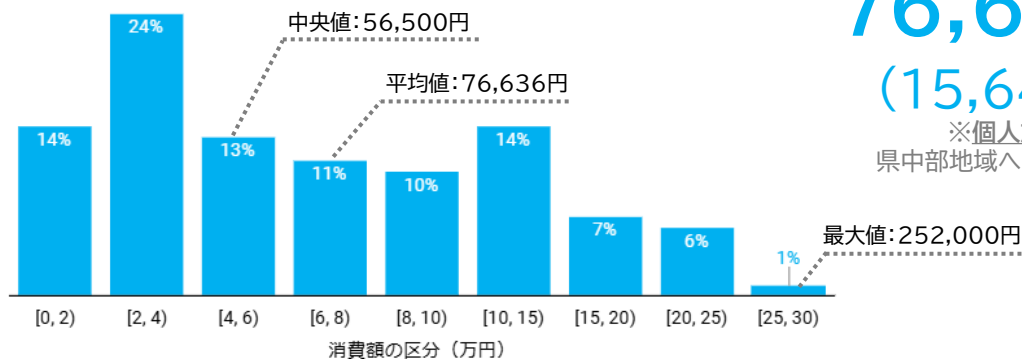
次ページ以降の消費額分析は
個人旅行者のみを対象とする
(香港便:n=105、ソウル便:n=75)

調査結果 > 消費額 > 1人当たり消費額(総額)

- 1人当たりの消費総額は香港便がソウル便を上回るが、人泊あたりでは両便とも約15,000円前後になる。
- 全国調査における人泊あたり消費額は25,000～30,000円程度で、当地域とは10,000円以上の乖離がある。
- 今回調査の対象はいずれもLCCであり、このような消費単価が低い客層の誘客を進めることについては、費用対効果の側面からは議論が必要になると考えられる。

消費額分布

香港便



平均消費額

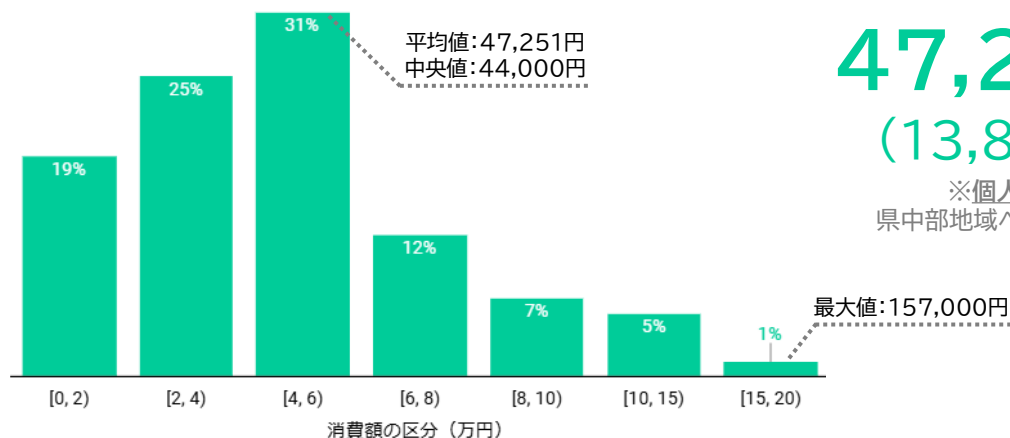
76,636円/人
(15,640円/人泊)

※個人旅行者に限定した
県中部地域への平均泊数4.9泊で除算

参考 全国調査

222,229円/人
(29,873円/人泊)

ソウル便



47,251円/人
(13,897円/人泊)

※個人旅行者に限定した
県中部地域への平均泊数3.4泊で除算

103,522円/人
(25,463円/人泊)

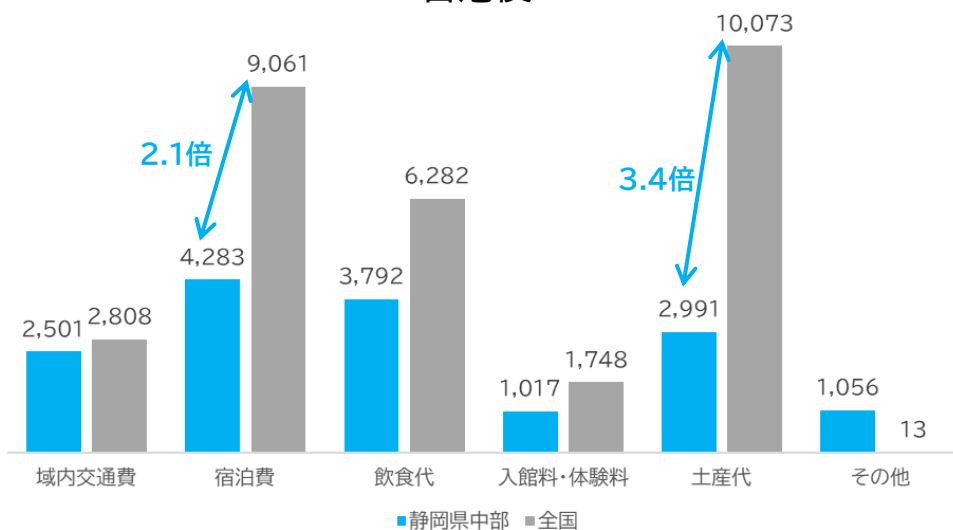
※「観光庁 インバウンド消費動向調査2024年7-9月期報告書」
1人当たり旅行中支出(香港、韓国)
※人泊計算に用いている平均泊数は香港7.4泊、韓国4.1泊

調査結果 > 消費額 > 1人1泊当たり消費額(費目別)

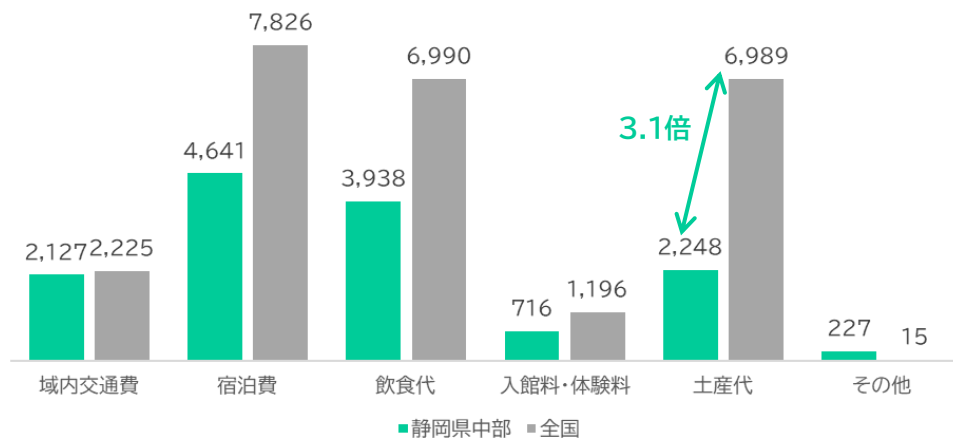
- 1人1泊当たりの費目別消費額は、香港便とソウル便は同程度であるが、全国調査の値と比較すると、宿泊費、飲食代、土産代に乖離が見られる。
- 特に**宿泊費、土産代は2～3倍程度の乖離**があり、当地域の消費額向上に向けた課題であることが示唆される。

1人1泊当たりの費目別消費額(円/人泊)

香港便



ソウル便



※「観光庁 インバウンド消費動向調査2024年7-9月期集計表」
表2-1より当財団算出(香港、韓国)

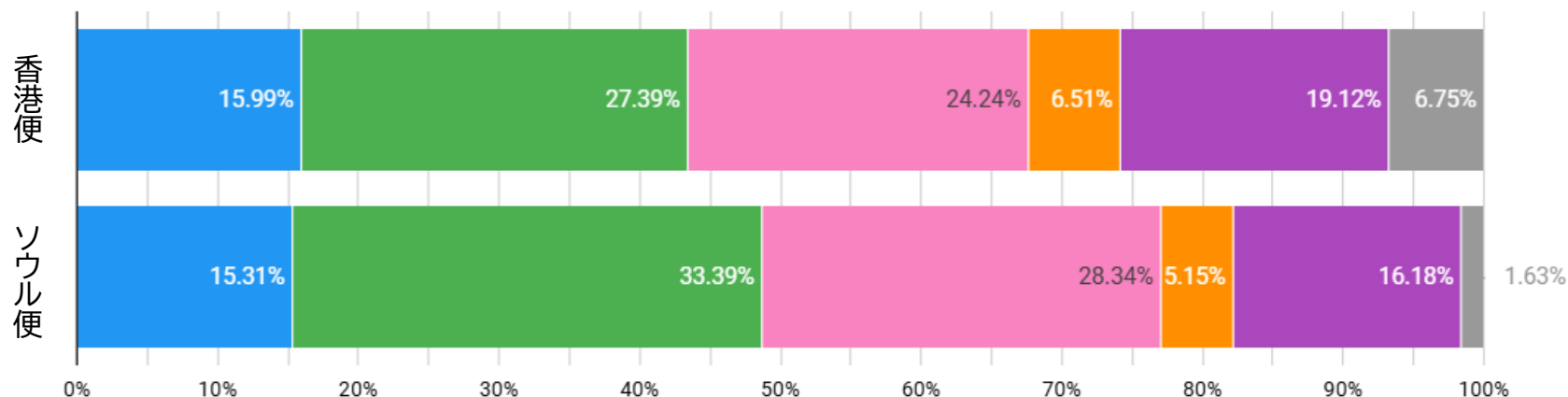
※人泊計算に用いている平均泊数は香港7.4泊、韓国4.1泊
※「交通費」を「域内交通費」、「娯楽サービス費」を「入館料・体験料」、「買物代」を「土産代」として比較している。

調査結果 > 消費額 > 費目別の構成比

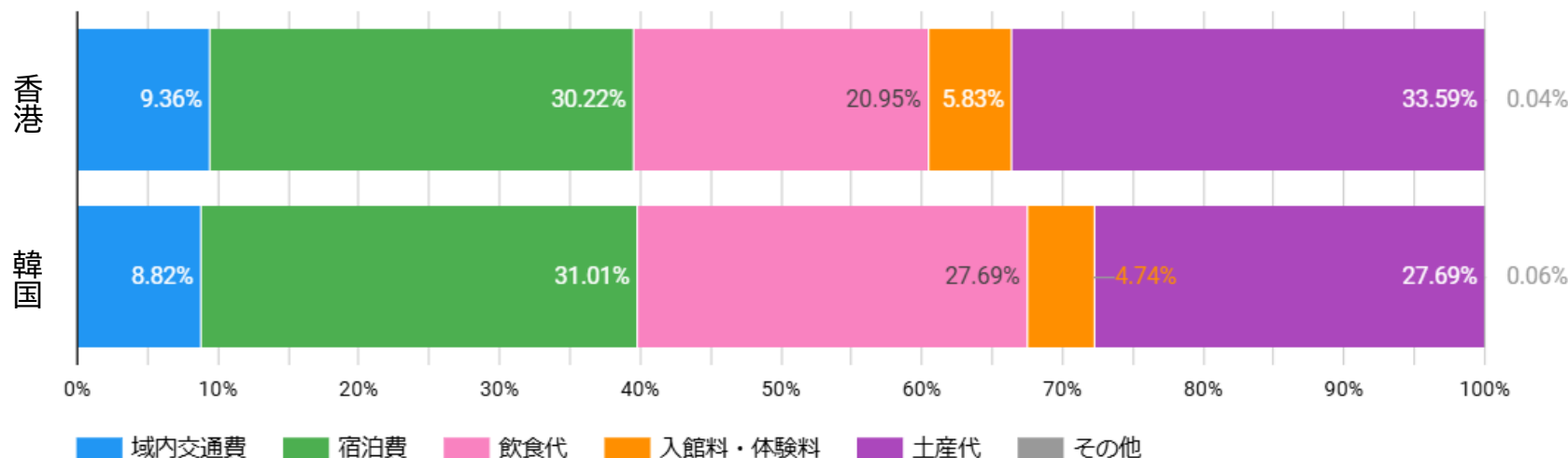
- 香港便は土産の割合が大きい、ソウル便は宿泊費の割合が大きいといった傾向が見られる。
- また全国調査の結果では、当地域と比べ土産代の割合が大きいといった傾向が見られる。

費目別消費額割合

今回



全国調査



Appendix 宿泊費の調査課題

- 本調査では、宿泊費は滞在期間の通算で支払った総額を尋ねているが、2万円以下の低額回答者においても、当地域に3泊を超える中長期の滞在をしているケースが一定数見られた。
- 一般的には、回答された宿泊費で宿泊可能な施設の存在は想定しにくい。これについては一部の回答者が「1泊当たりの宿泊費」を回答している可能性が1つの要因として考えられる。
- 今後、質問方法の見直しや、消費額に焦点を絞った精緻な調査の実施などにより、消費額推計の精度を高めていくことを課題としたい。

泊数	1人当たり宿泊費	
	0円超1万円以下	1万円超2万円以下
1泊	6	0
2泊	15	6
3泊	7	9
4泊	12	12
5泊	12	5
6泊	9	1
7泊	4	0
8泊	10	1
9泊	3	0
10泊	0	0
11泊	1	0
12泊	1	0

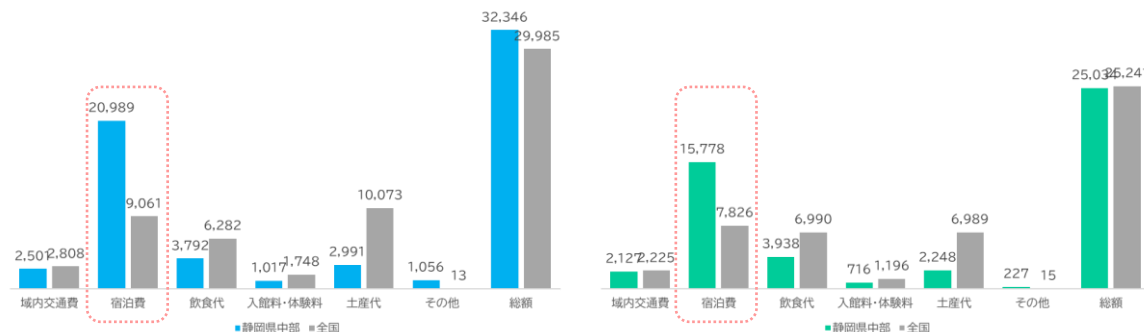
質問の意図: 今回の滞在通算での宿泊費



ギャップが生じている可能性

回答: 1泊当たりの宿泊費

仮に「全員が」1泊当たりの宿泊費を回答していた場合の消費額





富士山静岡空港 訪日客実態調査報告書 (2024年12月版)

公益財団法人するが企画観光局
(地域連携DMO)

〒420-0837 静岡市葵区日出町1-2 TOKAI日出町ビル9階
TEL 054-204-6677(調査分析グループ)
FAX 054-205-3639
MAIL info@suruga-mtb.or.jp

- 本資料の数値を引用する場合は、「出典：公益財団法人 するが企画観光局 “富士山静岡空港訪日客実態調査(2024年12月版)”」を明示してください。
- 報道・メディア媒体への掲載については、(公財)するが企画観光局 事業部 調査分析グループまでお問合せください。
- 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、閲覧者が本資料を用いて行う一切の行為について、何ら責任を負うものではありません。
- 集計事項により十分な回答数が確保できない場合もあるため、データ精度(標準誤差)にご留意ください。